

プレスリリース
報道関係者各位

**東京の金融サービス業界による社会貢献活動 第7回FITチャリティ・ラン、
参加企業数、参加者数で過去最高を記録
～ 地域社会への貢献を目的に約6,782万円の資金を集める ～**



(写真撮影：村越将浩)

東京 2011年11月6日 — FIT(「フィット」と読みます。)チャリティ・ラン2011実行委員会(共同実行委員長:小林博之/みずほ証券株式会社、ヴェロニカ・アナッシュ/KPMGあずさ監査法人)は、東京の金融サービス企業が集結して地域に根差した活動をしている非営利団体を支援することを目的に、「FITチャリティ・ラン2011」を国立霞ヶ丘競技場および神宮外苑周回コースにおいて開催しました。111社からランナー、ウォーカー、ボランティア総勢7,447人が参加し、参加企業数と参加者数ともに過去最高を更新しました。

同イベントの趣旨に賛同した金融サービス企業から寄せられた協賛金、イベントTシャツやチャリティくじなどの収益金、参加費、参加企業および参加者から寄せられた寄付金の総額は、67,820,892 円となりました。この寄付金から経費を差し引いた額を、以下の10団体に寄付します。

関東地方

- 社会福祉法人 久良岐母子福祉会
- 特定非営利活動法人 彩星学舎
- 社会福祉法人 さぼうと21
- 公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本
- 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ

東日本大震災被災地域

- 特定非営利活動法人 エティック
- 認定NPO法人 幼い難民を考える会
- 特定非営利活動法人 ネットワークオレンジ
- 特定非営利活動法人 フェアトレード東北
- 特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台



FITチャリティ・ラン2011共同実行委員長を務める小林博之は、次のようにコメントしました。「FITチャリティ・ランは、2005年以来、地域社会活動に寄付を行い、地域社会に貢献してまいりました。今年は、関東地方の非営利団体に加え、東日本大震災の被災地で復興支援活動を行う団体も支援し、過去最高の参加企業数と参加者数を得て盛大に開催されましたことを大変うれしく思います。これは、金融サービス業界の結束が、地域社会に根差した活動を行う非営利団体の大きな支援につながっています。」

FITチャリティ・ラン2011共同実行委員長を務めるヴェロニカ・アナッシュは、「未曾有の大震災を受けて多くの復興支援活動が行われている中、地域の非営利団体の重要性がますます高まっています。FITチャリティ・ランは、多くの物的協賛企業様のご協力を得ることにより効率的な募金活動を行うとともに、参加者が楽しみながら資金集めを行える点が特徴となっています。今後も、金融サービス業界が一丸となって、地域社会に根差した支援活動を推進していく所存です。」と、述べました。

FITチャリティ・ラン2011実行委員会

アクサジャパン、渥美坂井法律事務所、Eat Creative、HSBCグループ、MGPA、クレアブ・ギャビン・アンダーソン、クレディ・スイス、KPMGあずさ監査法人(共同実行委員長)、ゴールドマン・サックス、J.P.モルガン、シティ、湘南医療短期大学、セレクトアセットマネジメント、パークレイズ・グループ、バリアフリーカンパニー、バンクオブアメリカ・メリルリンチ、BNYメロン、BGC証券、ブラックロック、ブルームバーグL.P.、ヘイズ リクルーティング エクスパート、ドイツ銀行グループ、トーマツグループ、トムソン・ロイター・マーケッツ、日興アセットマネジメント、プライスウォーターハウスクーパースジャパン、みずほ証券(共同実行委員長)、みずほファイナンシャルグループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJメリルリンチPB証券、マッコーリー・グループ、マン・インベストメンツ証券、ミュージックセキュリティーズ、UBS

この件に関するお問い合わせ先:

Communications@fitforcharity.org

##

FITチャリティ・ランについて

2005年、東京の金融サービス企業が集結して日本の非営利団体を支援する目的で設立されました。FITチャリティ・ランの支援先団体は、地域社会に密着した意義ある活動を行っていながらも、認知度が低い等の理由により、十分な活動資金の確保が困難な団体を中心としています。www.fitforcharity.org

<添付資料>

大会概要

大会名称： FIT チャリティ・ラン2011
 開催日： 2011 年11月6日（日）
 コース： 国立霞ヶ丘競技場および明治神宮外苑周辺道路周回コース（東京都新宿区）

結果：

10キロ・ラン男子1位：	マーク・キャロン（いちごアセットマネジメント）	34分07秒
10キロ・ラン女子1位：	中本 芙美（アライアンス・バーンスタイン）	40分51秒
5キロ・ラン男子1位：	水越 友洋（ゴールドマン・サックス）	17分14秒
5キロ・ラン女子1位：	柳場 麗那（三菱UFJメリルリンチPB証券）	21分54秒
400メートルリレー優勝：	BNPパリバ証券	46秒17
ベストコスチューム賞：	工藤 純&マリオブラザーズ（シュローダー証券投信投資顧問）	
最も多くの寄付金を集めた団体：	UBS	

主催： FITチャリティ・ラン2011実行委員会
 後援： 朝日新聞社、日本経済新聞社
 特別支援： 財団法人日本サイクリング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立競技場
 協賛： **【企業スポンサー（寄付金50万円以上）】**
 アクサ生命保険株式会社、アライアンス・バーンスタイン、オーストラリア・ニュージーランド銀行、バンクオブアメリカ・メリルリンチ、パークレイズ・グループ、ブラックロック・ジャパン株式会社、ブルームバーグ L.P.、BNPパリバ・グループ、BNYメロン、シティ、クレディ・アグリコル・グループ、クレディ・スイス、トーマツ グループ、ドイツ銀行グループ、Eat Creative、アーンスト・アンド・ヤング ジャパン、ファクトセット・パシフィック、ゴールドマン・サックス、ハートフォード生命保険株式会社、HSBCグループ、ICAP東短証券株式会社、いちごアセットマネジメント株式会社、アイピーシー・インフォメーション・システムズ株式会社、ISIDフェアネス、J.P. モルガン、日本相互証券株式会社、株式会社 証券保管振替機構、有限責任 あずさ監査法人、株式会社KPMG FAS、KPMG税理士法人、リクイドネット証券株式会社、マッコーリー・グループ、マン・インベストメンツ証券株式会社、MGPA、三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券、モルガン・スタンレー、日興アセットマネジメント株式会社、プライスウォーターハウスクーパース ジャパン、楽天銀行株式会社、ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社、ロイヤルバンク・オブ・スコットランド、シュローダー証券投信投資顧問株式会社、ソシエテ ジェネラル グループ、スタンダード&プアーズ、スイス再保険会社 日本支店、トムソン・ロイター、UBS

【企業サポーター（寄付金35万円以上）】
 アビーム コンサルティング株式会社、BGC証券会社東京支店、フューチャーズ・イン・ファイナンス株式会社、日本GE株式会社、GEキャピタル、アイエヌジーバンク エヌ・ヴィ 東京支店

協力(物的協賛)：アカデミーヒルズ、アサヒフードアンドヘルスケア株式会社、アビリティス ホスピタリティ株式会社、ECCジュニア、ANAインターコンチネンタル石垣リゾート、ANAインターコンチネンタル東京、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート、オルカ・インターナショナル、グランド ハイアット 東京、コットンクラブ、大塚ホールディングス株式会社、サッポロ飲料株式会社、サッポロファインフーズ株式会社、株式会社JTBモチベーションズ、セルリアンタワー東急ホテル、ハイアット リージェンシー 京都、ブルーノート東京、ホテルニューオータニ、マンダリン オリエンタル 東京、三菱商事株式会社、森ビル株式会社、モーション・ブルー・ヨコハマ、株式会社ユニフルーティー ジャパン、株式会社ヨックモック、パレスホテル、パーク・ハイアット・東京、六本木ヒルズクラブ、シャングリ・ラ ホテル 東京、スキルハウス スタッフینگ ソリューションズ株式会社、ザ・エコノミスト・グループ・アジア・パシフィック・リミテッド、帝国ホテル、ザ・ペニンシュラ・東京、ザ・リッツ・カールトン東京、ストリングスホテル東京インターコンチネンタル、日本トイザラス株式会社、「オル・イン」／「Ma-do」(クライテリア)、ディプロマット、村越将浩(写真家)、桑原隆二(写真家)、福永晃(写真家)、日本通運株式会社、湘南医療福祉専門学校、東京都立富士森高等学校、ウォールストリートジャーナル ジャパン、ユナイテッド航空

FIT チャリティ・ラン2011 の支援先団体一覧

関東地方

- 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ
「自立型共生社会の実現」を理念に、青少年とボランティアの育成を目的としたキャンプを実施しています。障がい児と健常児が共に過ごす「フレンドシップキャンプ」や、子どもが自然を体験する「サマーキャンプ」などを展開中しています。
- 公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本
将来自立した社会人になるよう、経済教育の体験型プログラムを小学生～大学生に提供しています。主要プログラムは「ファイナンス・パーク」「スチューデント・シティ」「ジョブシャドウ」など。
- 社会福祉法人 久良岐母子福祉会
児童福祉法に規定された児童福祉施設で、家庭で養育できない乳幼児を入所させ養育し、退所した子どもについての相談・援助も行っています。
- 特定非営利活動法人 彩星学舎
不登校や発達障がいなどにより、多様なニーズをもつ子ども・青年が通うフリースクール。体験的な学習や古民家合宿、演劇、地域交流バザーなどの活動を通して、自己肯定感とコミュニケーション感覚を培っています。
- 社会福祉法人 さぼると21
生活相談、教育面での経済支援、学習支援を柱に、日本に定住する難民、中国帰国者や日系人の子弟の自立支援を行っています。

東日本大震災被災地域

- 特定非営利活動法人 エティック
次世代の起業家型リーダー育成を通じて、社会イノベーションに貢献します。今回「震災復興リーダー支援プロジェクト」を実施、被災地で復興に向けた事業リーダーに対して、一定期間右腕となる人材を派遣します。
- 特定非営利活動法人 幼い難民を考える会
難民を出さない平和な社会をめざし、カンボジアで、幼児が安心して過ごせる環境づくりと、女性の自立のための支援を31年間行っています。その経験を活かし、東日本大震災被災地支援活動として、子どもたちの保育支援に取り組んでいます。
- 特定非営利活動法人 フェアトレード東北
ローカル及びグローバル・コミュニティにおける社会的排除の解決をミッションとし、フェアトレード商品の普及活動とともに、社会的弱者を対象に雇用支援を行っています。東日本大震災後は、援助の届きにくい地域や個人の生活困難者を優先した支援活動を行っています。
- 特定非営利活動法人 ネットワークオレンジ
宮城県気仙沼市を中心に障がいのある人々が町づくりにかかわり、よりよい地域社会づくりをめざしてきました。東日本大震災から半年以上が経ち、市民が求めるのは「心の癒し」です。生活が落ち着き厳しい現実に向き合う今、楽しいひと時が必要です。FITの寄付金は、笑顔を作るイベント会場の経費に使いたいと考えています。
- 特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台
2002年の設立以来、ホームレスの方々などへ短期・長期のシェルターを提供するとともに、ジョブトレーニングなど自立のための伴走型支援を行っています。東日本大震災以来、多くの被災者に食事を提供。高齢者や貧困層の人々にボランティアによるアウトリーチ活動や弁護士による無料相談を実施しています。FITからの寄付金で、仮設住宅の利用期限終了時にホームレスになる可能性がある人々のための社会福祉的セイフティーネットの構築をめざします。